

領域開拓プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「規範理論と経験分析の対話」

◆研究テーマ:「規範理論としての法語用論の開拓

-ヘイト・スピーチの無効化をめぐる-

研究期間:H26.10~H29.9

委託費総額:11,337千円

<研究代表者>

尾崎一郎:

北海道大学大学院法学研究科/教授

<専門分野> 法社会学

<Webページ><http://lex.juris.hokudai.ac.jp/~ozaki/>

<研究目的・概要>

・深刻化するヘイト・スピーチの法的規制の是非という課題が存在



マイノリティの人権対表現の自由という不毛な二項対立を脱し、法学と言語学と心理学を架橋してヘイト・スピーチを無効化する方途を探求する。

・言語行為としてのヘイト・スピーチの危害性が社会的に緩和、無効化される条件を探求する

・独自の語用論、関係性理論、攻撃心理学を基盤に規範理論としての法語用論を開拓する



法的規制の是非をめぐる不毛な対立を超克する新たなヘイト・スピーチ対策の実践的提案

<研究計画の特徴>

(1)批判的人種理論や法廷における文化衝突について研究してきた法社会学者、言語学の学位を持つ法言語学者、メディアにおける法言説を経験的に分析している法社会学者、実験心理学に通じた社会心理学者の協働

(2)メディア上のヘイト・スピーチのコーパスの構築による実証的分析

(3)言語学と社会心理学の最新理論の活用

<目標とする研究成果>

(1) 言論空間(メディアやインターネット)上の制度設計

いかなる工夫によってヘイト・スピーチの攻撃性を緩和・無効化できるか

(2) 制度設計の実効化

法規制はいかなる内実と手続を用意すべきか

(3) 威嚇や攻撃や排除を発語内行為として企図した言論の増幅と公権的言論統制との悪循環を断ち切る

私人はいかなる規範実践を実現できるか